

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 6 年 4 月 9 日(2024.4.9)

【公開番号】 特開 2024-36674(P2024-36674A)
【公開日】 令和 6 年 3 月 15 日(2024.3.15)
【年通号数】 公開公報(特許)2024-049
【出願番号】 特願 2024-18254(P2024-18254)
【国際特許分類】
A 6 3 F 7/02(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z
A 6 3 F 7/02 3 3 0

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 4 月 1 日(2024.4.1)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

扉体と遊技盤との間の遊技領域を流下する遊技球が所定入球手段に入球した場合にそれに対応する遊技の履歴情報を履歴記憶手段に記憶させるための履歴記憶処理を実行する履歴記憶実行手段と、
前記履歴記憶手段に記憶されている前記履歴情報を利用して遊技の結果に対応する態様情報を導出するための所定導出処理を実行する情報導出手段と、
当該情報導出手段により導出された前記態様情報に対応する表示が行われるように情報表示手段を表示制御する態様情報表示制御手段と、
所定状況の場合に遊技のための所定処理の実行が規制される規制状況とする手段と、
を備え、
前記履歴記憶実行手段は、前記扉体が閉鎖状態である状況及び開放状態である状況のいずれであっても前記所定入球手段に遊技球が入球した場合にそれに対応する履歴情報を前記履歴記憶手段に記憶させる構成であり、
前記態様情報表示制御手段は、特定事象が発生したことに基づいて、前記情報表示手段を特定事象対応状態に変化させる特定事象対応手段を備え、
前記情報導出手段は、処理実行契機が発生することにより前記所定導出処理を実行するものであって、前記態様情報の導出が開始されてから当該態様情報の導出が完了するまでに前記所定導出処理を複数回実行するものであり、
前記履歴記憶実行手段は、前記規制状況であっても前記履歴記憶処理を実行するための手段を備え、
前記情報導出手段は、前記規制状況であっても前記所定導出処理を実行するための手段を備えていることを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正 2】
【補正対象書類名】 明細書
【補正対象項目名】 0005
【補正方法】 変更
【補正の内容】
【0005】

50

ここで、上記例示等のような遊技機においては、情報表示手段の表示制御を好適に行う
必要があり、この点について未だ改良の余地がある。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記例示した事情等に鑑みてなされたものであり、情報表示手段の表示制御
を好適に行うことが可能な遊技機を提供することを目的とするものである。

10

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決すべく請求項1記載の発明は、胴体と遊技盤との間の遊技領域を流下す
る遊技球が所定入球手段に入球した場合にそれに対応する遊技の履歴情報を履歴記憶手段
に記憶させるための履歴記憶処理を実行する履歴記憶実行手段と、
前記履歴記憶手段に記憶されている前記履歴情報を利用して遊技の結果に対応する態様情
報を導出するための所定導出処理を実行する情報導出手段と、
当該情報導出手段により導出された前記態様情報に対応する表示が行われるように情報表
示手段を表示制御する態様情報表示制御手段と、
所定状況の場合に遊技のための所定処理の実行が規制される規制状況とする手段と、
を備え、

20

前記履歴記憶実行手段は、前記胴体が閉鎖状態である状況及び開放状態である状況のい
ずれであっても前記所定入球手段に遊技球が入球した場合にそれに対応する履歴情報を前記
履歴記憶手段に記憶させる構成であり、

前記態様情報表示制御手段は、特定事象が発生したことに基づいて、前記情報表示手段を
特定事象対応状態に変化させる特定事象対応手段を備え、

30

前記情報導出手段は、処理実行契機が発生することにより前記所定導出処理を実行するも
のであって、前記態様情報の導出が開始されてから当該態様情報の導出が完了するまでに
前記所定導出処理を複数回実行するものであり、

前記履歴記憶実行手段は、前記規制状況であっても前記履歴記憶処理を実行するための手
段を備え、

前記情報導出手段は、前記規制状況であっても前記所定導出処理を実行するための手段を
備えていることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、情報表示手段の表示制御を好適に行うことが可能となる。

40